



平成26年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【小山地区】

平成27年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 小山共育コミュニティー	小山地域の子ども、大人、高齢者のふれあいと協力による安心安全な町づくり事業	小山地域は比較的落ち着いた安心安全な地域である。しかし、最近の地域社会の人と人とのつながりの希薄化から、町の汚れ、犯罪の多発、青少年問題、孤立など様々な課題が生じている。地域の子ども、大人、高齢者が一緒になって取り組む活動を通じて、人々とのつながりを深め、安心安全で美しく落ち着いた、小山の町づくりに努めたい。	小山地区の幅広い世代の交流とふれあいの活動を通して安心安全で美しく落ち着いた、住み良い小山の町づくりを目指す。	・遊びや学びとふれあい活動を通して地域の人々への支援 ・地域のごみ拾い、美化活動を行う。 ・三世代交流(料理づくり、廃油石けんづくり、昔の遊び体験、語り・紙芝居体験、絵手紙、音楽会)	7月10日	132,000	130,000	130,000
2 ギャラリーサロン スカイ	小山地域住民のコミュニティ推進活動事業	小山地域は急速に発展・変貌する中で、新しい住民も増える一方、人々のつながりが希薄化・年代間の絆も弱まったと感じる。同地域にも既に高齢者という括りでのサロンは存在するが、さらに自分の趣味や興味を通じて気軽に参加できるサロンがあれば高齢者のみならず、広く孤立しがちな方々の交流の場として機能していけるのではないかと考える。	文化・芸術などの情報を発信することにより、趣味と興味を通じて地域住民が交流できる場を提供する。	・ギャラリーサロンスカイ(小山1-2-15)にオープン ・絵画・写真・書・映画・花等のコレクション・図録・パンフレットを展示、自由閲覧。 ・地域で活躍する作家のお話を企画(月1回)直に表現者との交流を体験する機会を設ける。 ・ちょこっと文化祭:地域の方が趣味で製作した工芸品、所蔵する作品などを借りうけて展示する。 ・施設や各団体に貸切利用を試みてもらう「木曜貸切」を実施する。 ・ギャラリーの空間をストレスを抱えている人の集いの場所として提供する。	7月10日	1,083,000	1,024,000	1,024,000
3 小山広報協議会	『おやま広報』発行事業	小山地区内で活動している団体が発行する広報紙や小山地区の地域情報紙など、様々な広報紙が地区内にあり、情報が埋もれてしまうことが見受けられた。そこで、平成22年度から小山地区の情報を一括編集した『おやま広報』を発行することとなった。	小山地区の住民にとって必要な情報を『おやま広報』で取り上げるとともに、地域の課題である自治会加入率低下に歯止めをかけるため、地区内の各団体の活動状況を紹介し、自治会加入を促進する。	・『おやま広報』の発行(年3回) ・広報紙規格 A4サイズ 4ページ(フルカラー) 上質35kg使用 毎回6,300部発行(各戸配付) ・編集会議の開催(各3回程度)	7月10日	300,000	300,000	300,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 小山地区防災対策協議会	小山地区防災対策拡充事業	<p>・東日本大震災を受け、災害時における住民相互の共助体制の重要性が再認識された。</p> <p>・平成23年度からの事業実施により地域住民の「防災・共助」の環境が出来つつあるが、今年度はさらに体制を確立していくことと、事業継続に必要な運営マニュアル等の整備を行う必要がある。</p> <p>・地域内の調査(井戸・専門家・災害弱者)の継続実施ならびに既存リストの確認と見直しの必要がある。</p> <p>・地域住民に対して防災セミナー、救急救命講習、防災施設見学等を行い防災意識を高める必要がある。</p> <p>・相模原市の「災害時要援護者避難支援ガイドライン」とのすり合わせを行う必要がある。</p>	<p>・防災への意識を高め、地域住民が共に助け合う「共助」の環境を整える。</p> <p>・災害弱者・要援護者(承諾者)を把握し、助け合いの見取り図を整備する。</p> <p>・災害発生から復興段階に有用な各分野の技能・技術・知識を有する住民の掘り起こしと救援活動をリードするメンバーのマイスター・リストを整備する。</p> <p>・災害発生時の生活水の確保のための、井戸の所在と提供に関する情報を整備する。</p> <p>・防災セミナーや救急救命講習・防災施設見学などを実施し、住民の防災意識を高める。</p>	<p>・災害弱者見守り活動依頼・実施継続。</p> <p>・マイスター募集(通期)、リスト作成・災害時の連絡網構築・整備</p> <p>・井戸の継続調査、災害時協力井戸の追加申請・認可・災害時井戸標識設置</p> <p>・普通救命講習会実施、2回開催予定、防災セミナー1回開催予定</p> <p>・防災関連広報(防災広報紙、防災マップ等の発行)全世帯配布 4,000部</p> <p>・防災訓練(宮下自治会・丸山自治会および小山地区)</p> <p>・今までに行った各事業の総合的な取りまとめと継続実施に向けたマニュアル化</p>	7月10日	270,000	265,000	165,000
5 きらくクラブ	高齢者生きがい事業	<p>高齢者の中には、介護保険を利用しデイサービスに行く方もいるが、自分の居場所がない方もいる。家庭があっても日中独居の方、引越して来て土地感がなくて困っている方、身体的な病気、または精神的な症状を抱え不安な中生活をしている方もいる。地域高齢者の見守り、閉じこもり防止のための集いの場が必要であると考えた。</p>	<p>小山地区の高齢者の方々のコミュニケーションの活性化を図るため、高齢者の自主的な活動を支援するとともに、交流の場を提供する。</p>	<p>・好きな時に来て自分の好きな活動をしていただく。また昭和の時代のレコードをかけ、懐かしく親しみやすい環境にしていく。参加者が興味のある事や知りたい事があればイベントを開催し、情報交換ができる体制をとる。</p> <p>・見守りのスタッフがいる中で安全に集える場にする。</p> <p>・冬休み、春休み等中学生のボランティアに来てもらい、話し相手になってもらうような、世代間を超えての交流も実施していく。</p>	7月10日	874,000	860,000	860,000
6 向陽鼓笛隊	向陽鼓笛隊地域貢献事業	<p>向陽鼓笛隊は、本年創立50周年を迎えます。「相模原市で一番初めにできた鼓笛隊」との誇りを胸に、児童の健全育成を目的に活動しています。小山地区の各種団体のイベントに出演し、イベントを盛り上げていますが、年々隊員数が減少しているのが現状です。より多くのイベントに出演することにより鼓笛隊の活動をアピールして隊員数の拡大を図り、さらに地域のイベントを盛り上げていきたいと考えております。</p>	<p>地域のさまざまなイベントに出演することにより鼓笛隊の活動をアピールし、隊員数の拡大を図り、子どもたちの健全育成を推進します。</p>	<p>・老朽化した楽器と隊服を整備し、地域のさまざまなイベントへ積極的に出演します。(ふるさとまつり(運動会)、夏祭り、敬老会、公民館文化祭、ねぶたカーニバルなど)</p> <p>・チラシを作成して配布することで、鼓笛隊の活動を周知して隊員数の拡大を図ります。</p>	7月10日	505,000	421,000	421,000
						3,164,000	3,000,000	2,900,000